

地域でいち早くブロッコリーを導入、先進的な取組で地域を先導 ～埼玉県深谷市 布施 将平氏～

経営体の概要

設立年度：昭和50年
基幹作物：水稻、トマト、ナス、
かぼちゃ
経営面積：1.1ha

現在：令和6年
基幹作物：水稻、ブロッコリー、
スイートコーン
経営面積：2.7ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【前歴事業実施前】

● 前歴の国営荒川中部事業の実施前は、地下水が低く井戸水も使用できなかったため、自宅から軽トラで畑まで水を運び、かん水等に労力を要していた。

【現在】

● 前歴事業等により末端ほ場までパイプラインが整備され、各ほ場に給水栓が設置。これによりかん水作業が軽減され、経営規模も拡大。
※ 本事業で施設の改修等を行うことで、農業用水が安定的に確保

営農改善、経営転換等のポイント

①規模拡大

前歴の国営荒川中部事業の実施前は、自宅で水を貯めて軽トラで畑まで運んでいたため、かん水に労力を要していたが、前歴事業等により末端ほ場まで給水栓が整備されたことで、かん水に係る労力が大幅に軽減。これにより、経営規模の拡大を図り、現在では農地も借り受け、ブロッコリー等を3.7ha作付け。



収穫したブロッコリー

②作物の変化

畑かん用水を活用した経営を目指し、地域で初めてブロッコリーを導入。地域の生産者が増加し、深谷市は全国一のブロッコリー産地（作付面積）となった。また、ブロッコリーの連作障害回避と周年栽培等を考え、スイートコーンの新品種「味来」も地域でいち早く導入し、生産が地域に広がっている。



ブロッコリーへのかん水

③品質の向上

スイートコーンは、多くの有機質肥料(4t/10a)を投入し、土壌分析により特別に調合した肥料を施肥することで糖度も高くなり、榛沢（はんざわ）ブランドとして市場から高い評価を得ている。有機質肥料は、近隣の畜産農家との耕畜連携により入手。



スイートコーンの箱詰め

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：埼玉県本庄市、深谷市、大里郡寄居町
受益面積：3,212ha
事業期間：平成26年～令和8年
事業目的：農業水利施設改修、用水再編及び地域用水機能の増進
主要工事：頭首工改修1箇所、揚水機場改修1箇所
用水路L=57.1km

位置図



荒川中部地区

＜問い合わせ先＞

関東農政局
農村振興部農地整備課
競争力強化事業推進担当
電話：048-740-0116

（令和6年度調査時点）